

令和元年度 第1回学校運営協議会

令和元年度 大阪府立野崎高等学校 第1回学校運営協議会議事録

日時：令和元年7月2日（火）

15：20～16：50

於：本校図書室

司会：教 頭

【次第】

1. 校長挨拶
2. 出席者紹介
3. 学校より
4. 協議・意見交換
5. 事務局より

1. 校長挨拶

- ・入試選抜について
- ・今年度、行政職も含めて教職員が新たに12名着任した。そのうち、2名が初任者である。
- ・防災対策として、備蓄をPTAより全生徒1日分を確保した。
- ・「課題早期発見フォローアップ事業」としてスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置と、図書室に居場所カフェ（COCOARU）を設置した。

2. 出席者紹介

- ・資料名簿による委員紹介及び事務局メンバーの紹介

3. 学校より

ア) 教務部より

- ① 2020年度入学生より、カリキュラムを変更する。
生徒の進路に合わせて、より幅広い選択が可能になる形へ変更する。
- ② 教科書選定を現在行っている。次回の協議会にて、結果を報告する。

イ) 生徒指導部より

生徒指導部の重点目標について

- ① 生徒会活動・部活動の充実

生徒会役員、部活動員を中心とした行事の企画運営を進めている。例えば今年度は、「生徒が自主的に野崎高校を変えていく」をテーマに生徒会を中心に、

遅刻防止啓発活動、校内清掃活動を実施し、6/22に運動部を中心に部活動交流会「部活フェス」を、9/14には中学生を招いた部活動体験会「野崎部活トライアル」を企画した。

このような生徒主体の活動は、生徒のコミュニケーション能力の向上やリーダーシップの醸成を目的としている。生徒リーダー研修や、新カリキュラム「総合的な探求の時間」でも、コミュニケーションワークを予定している。

② 生徒指導案件への迅速で丁寧な対応

学年職員室に担任外の生徒指導部員を新たに設け、これまで以上に、学年と生徒指導部の連携を密におこなっている。また学年の指導係を統合することで、3年間の見通しをもって統一した生徒指導を行えるように組織改変した。

③ 規範意識の向上

自転車交通安全のためのHR教材を新たに作成し、スマホの使い方に対する講演会も外部講師を招いて実施した。ネットリテラシーに関しては、例年参加しているスホサミットに加え、今年度は小学校（四条・深野）に生徒会役員が出前授業という形でスマホの使い方に関する講演会を行う。

④ 遅刻数の減少

昨年度大幅に減少した遅刻数は、一昨年レベルに戻っている。1年生の増加が一因となっているが、早い段階で各々の学年で進路への意識づけを強化することで遅刻者減の効果があると考えられるので、指導を継続していく。

授業間の遅刻もやや増加傾向なので、学年集会での呼びかけや廊下での声かけを続けていくことで、減らしていきたい。

ウ) 進路より

① 高大連携について

毎年、3年生の面接・小論文指導で大阪産業大学や大阪国際大学の方々に大変お世話になっている。その他にも、3学年とも進路行事などでも多くの大学、専門学校の方々にご協力いただいております、生徒のキャリア教育にご協力いただいている。

② 進路指導の状況

本校での勤務が2校目以降となる教諭が増加し、見通しを持った進路指導の意識が高まっている。例年の取組みを前倒しで進めることができるようになっており、進路指導に向けて良い効果が出てきていると感じている。

③ 41期生の進路状況

昨年度末の卒業生の進路状況では、進学分野ではほとんどの生徒がAO入試や指定校推薦入試での合格であった。中には公募制入試で、外国語大学や看護専門学校への入学を決めた生徒もいる。

就職分野では、幅広い職種へ就職した。求人状況も良好で生徒たちは希望の仕事を選びやすい年だった。

④ 42期生の進路希望状況

現3年生の42期生は、就職を希望する生徒が多い。一方で、今年度は大学の一般入試まで視野に入れている生徒も数名おり、総合大学の入学をめざしている。今年度から、web求人を生徒たちが検索、閲覧できるようにする予定。

⑤ 奨学金制度について

奨学金説明会に約80名参加した。制度の内容が毎年変わっており、非常に混乱している印象がある。また、同時期に並行して求人票が届いているため、慌しいが、手続き等の間違いがないように指導していきたい。

エ) 人権推進委員より

- ① 人権教育の基本方針について
- ② 人権講演会について
- ③ 職員研修について

オ) 首席より

- ① 広報として進学説明会・学校説明会を予定している
 - ・「全員広報」として各進学説明会等に参加していく。
 - ・今年度初の試みとして、9月14日(土)に部活動体験「野崎部活トライアル」を企画している。毎年のように中高連絡会などで中学校の先生方から部活動の活性化について多くの意見をいただいていた。野崎高校でも頑張っている部活動があることを知ってもらい、中学生にとって魅力ある学校をアピールしていきたい。
- ② 過去5年間の入学者の出身市別の割合について
 - ・今年度44期と、2年前42期で定員割れとなっている。広報にしっかりと力を入れて何とか新入学生を確保したい。
 - ・大東市にある学校なので、過去には地元校として多くの生徒が大東市から来ていたが、最近では減少傾向にある。今一度大東市にしっかりと本校本校の良さをアピールしていく必要がある。学区が撤廃されてからは東大阪市からの入学生が増加している。市別割合の今年度の傾向としては、5年前の40期の割合とやや似ている。
- ③ 中高連絡会のアンケートのまとめについて
 - ・たくさんの貴重なご意見をいただいた。授業については前向きに取り組んでいる生徒の様子が伝わっている感想が多く見られた。中学校のときよりも成長している生徒の姿を見られて安心したという感想も多かった。

- ・行事など生徒主体の取り組みに力を入れている部分や、課題の多い生徒たちに対する丁寧な取り組みについて、肯定的な意見が多かった。
- ・広報の仕方、部活動の活性化などについて色々なご意見をいただいた。校則（ピアス、化粧など）については、難しいだろうがもう少し厳しくしていくべきではないかというご意見が多く見られた。
- ・肯定的なものからご指摘なども含めて、全て今後の教育活動全般に活かしていきたい。

④ 本校のホームページとブログの紹介

- ・本校ホームページを実際にスクリーンに投影して紹介した。
- ・中学生に対する広報として、ホームページ上「中学生のみんな！」のページを紹介した。中学生が参加できる各行事について情報を掲載し、必要に応じて情報更新している。
- ・本校ブログの一部を紹介。6月22日（土）本校において「部活フェス」が行われた。部活動員が集まり、普段はしない色々なスポーツと一緒にすることで、部活動どうしが交流し今後も頑張っていくためのきっかけとすることと、9月の部活動体験「野崎部活トライアル」に向けて校内の部活動を活性化させていくことを目的としている。写真とブログ記事を紹介しながら、当日の様子を報告した。

4. 協議・意見交換

○生活指導部の遅刻指導について

- ・1、2年生が3年生より遅刻が多い。適切で粘り強い遅刻指導が必要。

○里山ボランティアについて

- ・3年生は頑張ってくれている。1・2年生も続けてくれたよい。

○PTAの参加率について

- ・保護者の学校行事への参加率は高いが、社会見学などへの参加率が低い。
- ・ホームページは知っているが、あまり読まれていないのであれば残念。
- ・里山のタケノコ掘りにたくさん参加されてはどうか。

○野崎高校をどんなカンフル剤で活性化するか

- ・中学校での進路指導での声を聞き、学校運営に活かしてほしい。
- ・部活動や新カリキュラムの広報を期待したい。

○人権教育について

- ・スマホの使用方法についての取り組みなども含め、素晴らしい。

○部活動について

- ・部活動トライアルは良い試みである
- ・ダンス部や里山ボランティア活動を中心に活性化してほしい。

○基礎学力の定着について

- ・学び直しできるよう、続けて取り組んでほしい。

5. 事務局より

次回の学校運営協議会について連絡